

野球評論家・元阪神タイガース ヘッドコーチ

黒田正宏 講演会

「プロ野球に学ぶリスクマネジメント

人生の岐路となった**1982**年の思い出と捕手・参謀人生」



日時：2022年11月23日（水・祝）16：40-17：40 無料

場所：関西大学 高槻ミューズキャンパス 6F 602 教室

主催：関西大学 学生団体 KUMC 登録10周年企画

関西大学 社会安全学部 リスクマネジメント研究室 10周年企画

大阪大学 軟式野球同好会トレフォール 創立40周年企画

後援：日本リスクマネジメント学会

講師：黒田正宏 1947年兵庫県出身。生家は黒田官兵衛の子孫と伝わる。1970年ドラフト6位で南海ホークス入団。1971～81年在籍。野村克也の控え捕手。野村退団後、正捕手に。

1982年に西武ライオンズに移籍。1982年の西武ライオンズ初優勝と日本シリーズで中日を破っての日本一に貢献。1983年には2年連続優勝と、日本シリーズでの巨人との激闘を制しての日本一に貢献。1982年の日本シリーズでは第1～4戦で先発マスク。第1戦で勝利打点。

現役引退後は、1986年から89年まで、根本陸夫管理部長と森監督の下、バッテリーコーチとして、西武ライオンズ3年連続日本一に貢献。1990-91年、福岡ダイエーホークスのヘッドコーチ。1999年、野村克也監督が就任し阪神タイガース入り。バッテリーコーチ(1999-2000)、球団本部付部長(2001-02)、編成部長(2003-10)、シニアアドバイザー(2011-12)、ヘッドコーチ(2013-14)を歴任。星野監督2003年優勝、岡田監督2005年優勝、和田監督による2014年の日本シリーズ進出などをコーチ、球団参謀として支えた。

阪神退団後、現在、野球解説者、野球評論家。サンケイスポーツにコラム「軍師の断」連載中。

人生の岐路となった40年前の1982年の思い出、捕手・ヘッドコーチ・編成部長の経験から、人生において、いかに「防ぎ」「守り」「リスクをとって挑むのか」、多くの監督を支えた名参謀ならではのお話。

申込 11/22迄 メール 関西大学 社会安全学部 亀井克之 kamei@kansai-u.ac.jp

または↓申し込みフォームで→ <https://sgfm.jp/f/962daa80d510f68d1b2f0578b2f8f3f7>

